

資料⑥

令和6年度渡津小学校学校評価 評価 5:そう思う
4:↑
2:↓
1:そう思わない

学校教育目標 たくましくかしこく心豊かな子どもの育成
スローガン～みんなが行きたいと思う渡津小学校をつくろう

A:達成できた
B:改善を検討
C:早急に改善

		評価計画					アンケート				自己評価		改善点	学校関係者評価（学校評議員）	評価結果
		中期経営目標	短期経営目標	達成のための方策	評価指標	目標値	職員	生徒児童	保護者	地域	評価ABC	結果と課題	来年度への取組	コメント	
1	確かな学力の向上（かしこい子ども）	学ぶ力の育成	学習規律の定着	授業への姿勢（時刻・準備物）	学習の準備をしてチャイム着席ができるよう指導を続けた。	4 (4.5)	4.9 (4.5)	4 (4)			A	・全般的にできていた。	・引き続き指導を続けていく。	学力向上のために学校では継続的に様々な取組を行っている。学力向上は学校だけで完結することではなく、家庭環境も大切である。学校と家庭が同じ方向を向いて、子供たちに学ぶ力を育成していくことを期待したい。	A
2			基礎基本の定着	毎月の書き取り・計算会の実施	書き取り・計算会の実施、再チャレの取組を行った。	4 (4.4)	4.9 (4.4)	4.3 (4.5)	3.8 (4.1)		A	・基礎基本の力は定着してきている。	・来年度は、時期や回数を検討していく。学期末の実施を調整していく。		
3				学びロードの充実	学びロードを定期的に更新した。	4 (3.3)	2.4 (3.3)	2.6 (3.7)			B	・定期的に更新することはできなかった。	・授業で使った用語、公式や学習したものを掲示していく。他学年の学習内容に興味をもつことにより、学びを深める機会としていきたい。		
4				タブレット学習の取組	毎日タブレットを活用する時間を設定した。	4 (4.1)	4.1				A	・昨年度よりも活用することができた。朝学習や宿題でも活用した。	・学年に応じて効果的に活用していく。		
5				ICT活用	毎日タブレットをスイッチオンした。	4 (4.3)	4.3	4.5			A	・はじめは健康観察などでオンしていたが、途中からその必要がないくらいに授業で活用することができた。	・今後も継続していく。 ・時折、充電を忘れる児童がいるので、電源コードは学級に必要。		
6			考えが深まる授業を目指して45分間の授業の充実	授業の中で「めあて」と「ふりかえり」を位置づける	授業で「めあて」と「ふりかえり」をおこなうことができた。	4 (3.9)	4.1 (3.9)	4.0 (4.1)			A	・授業の流れとしてはできている。ただ、振り返りの時間が取れない時もある。	・今後も意識して、めあてまとめふりかえりを行っている。		
7				主体的対話的な学びの充実	ペア学習やグループ学習での話し合い活動の充実ができた。	4 (4.2)	4.0 (4.2)	4.6 (4.3)			A	・ペアやグループを意識して行っている。児童もスムーズに話し合えている。	・ペアやグループ学習の前にしっかりと個人の考えをもち話し合うことが大切。		
8			家庭学習習慣の定着	家庭学習の充実	決められた時間や内容を指導し、改善に努めた。	4 (4.3)	3.9 (4.3)	3.6 (3.8)	4 (4)		B	・各学年、音読漢字計算の宿題を中心に組み合わせた。しかし、タブレットの宿題では取り組みにくい児童もいる。	・学習時間の中に読書時間を追加することで、学習時間や読書量を増やしていく。		
9			キャリア教育の推進	キャリアパスポートの利用	年間計画に沿って計画的に活用した。	4 (4.5)	4.4 (4.5)	4.4 (4.7)			A	・年間計画に沿って実施することができた。	・今後も継続して取り組んでいく。		
10			図書館活用教育	読書活動の充実 ・読書量と共に内容の充実	目標冊数を読む取組や調べ学習を教育課程に織り込んだ。	4 (4.1)	4.1 (4.1)	4.1 (4.3)	3.1 (2.7)		A	・渡津の本棚の記録は取り組むことが難しかった。	・家庭学習に読書を取り入れ、音読カードの記録に読書の欄を入れることで読書量が増えるようにしていく。		
11			特別支援教育の充実	教職員が連携をとりながら、特別支援教育の改善充実を図る	教職員間で特別支援教育の連携ができた。	4 (4.4)	4.6 (4.4)				A	・児童の具体的な支援について、教職員で連携しながら考えることができた。	・校内での連携だけでなく、清和養護学校や整肢学園の教育相談や特別支援教育専任教員の学校訪問などの外部との連携を今後も活用していく。		

12	豊かな心の育成（心豊かな子ども）	思いやりの心と人権意識の醸成	自己有用感の育成	係活動・委員会活動・縦割り班活動の充実	それぞれの活動を通して自己有用感自己肯定感を育てる指導を進めた。	4	4.4 (4.4)	3.9 (4)			A	・R6年度より縦割り班や委員会の数が増えた。一つのグループの人数が増え、他学年の児童の関わり合いが増えた。	・来年度も同様の縦割り班と委員会の数で活動し、充実した活動になるように計画していく。	元気なあいさつができるようになってきている。靴そろえが習慣化できるとさらによいと思う。	A
13				「いいとこ見つけ」などの実施。 掲示物の活用	渡津小の子どもは、友達や先生・地域の方から認めてもらっていると思う。	4	4.4 (4.2)				A	・各クラスとも道徳や学活の授業で実施した。児童の様子を共通理解し、様々な場面で励ませるよう心掛けることができた。	・今後も日々の児童とのかかわりを大切にし、場面に応じ適切な声がけをしていく。		
14			関わりを大切にする子の育成	友達や地域の方などとの関わり場の充実	縦割り班活動やふるさと教育などのふりかえりや反省・感想を通して、かわることや協力することの良さに気づかせた。	4	4.5 (4.2)	4.6 (4.6)	4.5 (4.3)		A	・工夫して取り組むことができた。縦割り班を通年にしたことで運動会や委員会の特別活動等で、関わり合いを増やすことができた。	・他学年や地域の方々とふれあいを大切にして、人と関わり合うことの重要性について伝えていく。		
15			三則の徹底	あいさつ・返事・くつそろえの習慣化	あいさつ・返事・くつそろえについて指導を進めた。	4	4.3 (3.9)	4.3 (4.4)	3.7 (3)	4.1 (4.6)	B	・あいさつについては意識を向上させることができたが、くつそろえについては課題が残った。	・三則の徹底については引き続き取り組んでいく。特に、くつそろえについては重点的に指導する。指導に変化をつけながら、児童の意識がより改善されるようにしていく。		
16			人権・同和教育の充実	人権週間・人権の花・人権集会の取り組み 校内研修の充実	教育活動全体を通して人権・同和教育を進めることができた。	4	4.4 (3.8)	4.5 (4.6)	4.5 (4.4)		A	・人権集会では、劇の内容を縦割り班で話し合うことで「みんながってみんないい」というテーマについて考えることができた。 ・人権の花の活動が、子どもたちの中で意味ある活動につながっていない。取り組み方を考えていく必要がある。 ・人権週間の期間に人権集会で各班が考えた合言葉を掲示したことは、意識化に繋がった。	・人権学習の内容・対象を検討する。 ・人権週間に限らず、優しい関わりができるように声掛けを行う。		
17	健やかな体の育成（たくましい子ども）	基本的生活習慣の育成	交通事故防止	交通安全教室、通学路の安全点検、下校指導	交通ルールなどについて指導を進め、改善に努めた。	4	4.6 (4.5)	4.8 (4.7)	4.1 (4.2)	4.5 (4.4)	A	・交通ルールを守り、安全に登下校することができた。	・来年度も今年度同様継続していく。	職員、児童の評価と保護者の評価に差がある項目（食育、タイムコントロール）がある。実践、行動が伴っていないためではないかと予想する。弁当の日は食育というよりイベントになっている感じがしている。取組方法への工夫を期待したい。	B
18				テレビやインターネット、ゲームなどのメディア接触時間についての指導、啓発	タイムコントロール週間に合わせ、ゲームやインターネットなどメディアの接触時間について指導を行った。	4	4.5 (3.7)	3.8 (3.7)	2.9 (2.6)		C	タイムコントロール週間中は意識して生活できているが、児童・保護者のアンケートの結果から、普段の生活では意識できていないことが分かった。	・来年度も、家庭と連携したタイムコントロールに関する取組を学期に1回程度、計画的に行う。 ・また、来年度も6年生を対象としたメディアに関する学習を行う計画をしているが、5年生も対象にすることを検討。その際には、保護者にお知らせし、参加を呼びかける。		
19		健康増進	食育の推進	食の学習の充実	給食指導を通してバランスを考えながら食べる指導を行った。	4	4.5 (4.5)	4.1 (4.3)	3 (3)		B	・栄養教諭を招いた食の学習を計画的に実施することができた。また、PTA育成部と連携した弁当の日の取組で、食に関する関心を育むことができた。	・栄養教諭による専門的な立場からの助言は児童にとって効果的だったと感じているため、今後も継続していく。		
20			体力づくり	体力調査をもとにした体育授業の改善 ファンラン、外遊びの充実	スポーツテストの結果から、渡津小の子どもの弱い点について体育の授業などで取り組んだ。	4	3.9 (4.1)	4.3 (4.4)	4.1 (4.3)	4.4 (4.3)	A	・体力テストで課題であった立ち幅跳びは向上した。	・ファンランの時期を検討し、全校で体力向上する機会を考えたい。また、委員会の企画で外遊びにつなげていきたい。 ・体力テストの結果を参考にして、弱点克服を心がけたい。		
21	信頼される学校づくり	学校・地域・家庭・関係機関との連携		安全・安心な環境づくり 施設整備の点検 安全教室、避難訓練の実施	安全点検や防災訓練を計画的に実施した。	4	4.9 (4.8)				A	・計画通り安全点検と防災訓練が実施できた。	・児童への予告なしの避難訓練を実施し、本当に避難できる力がついているか来年度は確認してみたい。 ・校舎の老朽化にともない修繕が必要な場所が増えてきている。多くの目で確認しながら、安全な環境づくりに努めたい。	伝統的な行事を学校でも企画して、地域、家庭が連携するようなイベントがあればよいのではないだろうか。交流できる場を学校で作ってもらえるとうれしい。地域の祭りで親子活動をしてもらえると子供の参加も多くなるので継続的に実施してほしい。	A
22			関係機関との連携	地域の教育資源の活用 ・コミセン等との連携 ・ふるさと郷育の充実	地域教材を活用して教育を実施している。	4	4.4 (4.4)	3.6 (4.1)	4.3 (4.4)	4.1 (4.4)	A	・地域の良さを学ぶことができるよう積極的に出かけることができた。	・人材確保に引き続き努めていく。協力的な地域に遠慮をせずに協力をお願いしたい。		
23			家庭との連携	各家庭との連携 学級PTA活動の実施	学校が家庭との連携に努めている。	4	4.7 (4.6)		4.5 (4.6)	4.6 (5)	A	・引き続き、学校だより、学級だよりで学校の状況等を丁寧にお知らせすることを心掛けた。	・Tetoruでの配信になり、適切な情報発信について継続的に工夫していきたい。		
24			保・中との連携	保小、小小、小中での情報交換・交流の場の設定	保小、小小、小中での情報交換・交流を進めた。	4	4.6 (4.5)				A	・引き続き連携ができた。	・渡津保育所だけでなく、他の保育園からの入学生が増えている。連携の方法については検討が必要である。		
25				学校は楽しいですか(児童)	評価委員会の取組(地域)	4		4.3 (4.4)	4.2 (4.3)		A	・肯定的な意見が多かった。	・引き続き、魅力ある学校づくりを念頭におき、改善し続けていきたい。		